

時速100キロの時より、 止まっている時のほうがこわい。 それが高速道路です。

パンクは危険です。ふらついたり、ハンドル操作ができなくなることがあります。

時には、路肩でタイヤを交換する事態もおこるでしょう。

ドライバーを、絶対そんな危ない目にあわせたくない。私たちが、^{*1}世界で初めて実用化した「ランフラットタイヤ」には、そんな思いがこめられています。

^{*2}パンクして空気圧がゼロになっても、時速80キロで80キロの距離を走れる、ということを目指して開発。安全な場所まで、普段通りに移動ができるように考えています。また、このタイヤであれば、スペアタイヤが不要になるので、そのぶん軽量化が可能。燃費が向上するとともに省資源にも確実に役立つのです。人命というかけがえのないものを預かるタイヤに、立ちどまることは許されません。97%天然資源の原材料を使った驚異のエコタイヤや、特殊吸音スポンジで徹底的に騒音を抑えたタイヤなど、革新的な技術を次々と提案する私たちにご期待ください。

※1 1974年に市販車に初めて装着。(当社調べ) ※2 通常の使用条件下において、走行可能。



人類のために働くゴムへ。住友ゴム



住友ゴム工業株式会社
SUMITOMO RUBBER INDUSTRIES, LTD.